



プレスリリース

2018年9月10日

パール／ツーク、スイス

パートナーズ・グループがオーストラリアの風力発電所(226MW)プロジェクトを完成に向けて主導

世界的なプライベート・マーケットの投資管理会社であるパートナーズ・グループはクライアントを代表して、オーストラリアのマラ・ワラ風力発電所第1期プロジェクト(以下「マラ・ワラ第1発電所」)の買収と建設に2億オーストラリアドル超をエクイティで投資することに合意しました。226MWのマラ・ワラ第1発電所の売主は、当該プロジェクトを共同で開発中のRenewable Energy Systems(リニューアブル・エナジー・システムズ、以下「RES」)とマッコリーキャピタルです。

パートナーズ・グループは、マラ・ワラ第1発電所プロジェクトの完成に向けて主導します。ビクトリア州ホーシャム(Horsham)の北約30kmに位置するマラ・ワラ第1発電所は、センビオン社の3.7MWタービン61基で構成され、定格発電容量(nameplate capacity)合計は226MWです。開発を担ってきた1社であるRESは、一部サービスを引き続き提供することでプロジェクトを支援します。

マラ・ワラ第1発電所の建設は、2018年3月に開始され、2019年中頃に完成予定です。発電電力の大部分については、オーストラリア最大の通信会社のテルストラ、Coca-Cola Amatil(コカ・コーラ・アマティル)、オーストラリア・ニュージーランド銀行(ANZ)、メルボルン大学、モナシュ大学など、サービス業界、産業界の投資適格顧客と長期の電力購入契約をすでに締結しました。

マラ・ワラ第1発電所が完成すれば、オーストラリアの22万軒の家庭を十分に賄える量のクリーンエネルギーを供給し、毎年90万トン超の二酸化炭素排出量の削減に貢献します。また、建設期間中にはビクトリア地域で約150人の雇用を創出することで、地元の事業やサービスへの投資促進が期待されます。

パートナーズ・グループのパートナーであり、アジア太平洋地域民間インフラストラクチャー部門の共同責任者(Co-Head Private Infrastructure Asia-Pacific)であるベンジャミン・ハーンはこう述べます。「今後10年間でかなりの数の火力発電所が閉鎖されると考えられている中、オーストラリアの再生可能エネルギー部門は、そのようなトレンド変化から利益を得るという考えは変わりません。建設段階から参入し、稼働段階まで問題なくプロジェクトを完成させることができるマラ・ワラ第1発電所のようなプロジェクトへの投資は、弊社のインフラストラクチャーにおける「コア資産を建設する」戦略に合致しており、パートナーズ・グループが2015年から行ってきたオーストラリアでの大規模風力発電所への投資としては4番目となります。本プロジェクトは、弊社のポートフォリオにさらなる規模と多角化をもたらします。また、オーストラリアのNational Electricity Market(全国電力市場)において、最高クラスの品質を誇る風力発電所でもあります。



Partners Group

REALIZING POTENTIAL IN PRIVATE MARKETS

パートナーズ・グループは先日、マラ・ワラ第 1 発電所への投資に先立ち、Grassroots Renewable Energy Platform(グラスルーツ再生エネルギープラットフォーム、以下「グラスルーツ」)に 7 億オーストラリアドルを投資する契約を結びました。グラスルーツは今後 4 年間でオーストラリア全土に風力、太陽光、蓄電池施設、合計 1.3GW 超の建設を目指す大規模プラットフォームです。グラスルーツが稼動すれば、再生可能エネルギー分野におけるオーストラリア最大規模の独立系発電事業者として、オーストラリア電力市場のカテゴリー・リーダーとなることが期待されています。また、オーストラリアの再生可能エネルギー部門に関しては、パートナーズ・グループは 2015 年 6 月に 240MW のアララット風力発電所(Ararat Wind Farm)の開発に投資しましたが、同発電所は 2017 年中旬にオーストラリアの全国送電網にクリーンエネルギーの提供を開始しました。

パートナーズ・グループのシニア・バイス・プレジデント兼アジア太平洋地域プライベート・インフラストラクチャー部門の共同責任者、アンドリュー・クォックはこう述べています。「マラ・ワラ第 1 発電所とグラスルーツにより、弊社の太平洋地域の再生可能エネルギー資産ポートフォリオはさらなる拡大を遂げました。2014 年より、弊社は 900MW 超の再生可能エネルギー発電能力を地域に提供してきました。現在 490MW 分が新たに建設中です。弊社は経験から、このような大規模なプロジェクトを、スケジュール通りに予算内で完成させるためには何に注力すべきかわかっています。それは、建設部品の調達に時間的余裕を持ち、間に合わせること、リスクを識別し管理するための適切な専門知識を自社で持つこと、プロジェクトを達成するための適切な能力と経験をもたらしてくれるパートナーと組むことです。

パートナーズ・グループについて

パートナーズ・グループは、グローバルなプライベート・マーケットの投資管理会社で、プライベート・エクイティ、プライベート・インフラ、プライベート・デット、プライベート不動産の四つの資産を対象に、670億ユーロ(780億米ドル)の運用資産を有し、世界各国の機関投資家のために、カスタマイズされた様々なポートフォリオを運用しています。本社をスイスのツーク市に置き、デンバー、ヒューストン、ニューヨーク、サンパウロ、ロンドン、ガンジー、パリ、ルクセンブルク、ミラノ、ミュンヘン、ドバイ、ムンバイ、シンガポール、シドニー、マニラ、上海、ソウル、そして東京に拠点を有しています。現在、従業員は1,000名を超え、スイス証券取引所に上場(シンボル: PGHN)しておりますが、主要株主は弊社のパートナーと従業員です。

投資家リレーションのコンタクト先:

フィリップ・ザワー

電話: +41 41 784 66 60

Email: philip.sauer@partnersgroup.com

メディア向け広報窓口:

ジェニー・ブリンチ

電話: +44 207 575 2571

Email: jenny.blinch@partnersgroup.com

www.partnersgroup.com